

平成27年度 第1回

山根市民センター運営審議会

日時 平成27年6月25日（木）

午前10時～

場所 山根市民センター集会室

次第

1 開会

2 会長挨拶

3 議事

(1) 平成26年度山根市民センター利用状況及び事業報告について

(2) 平成27年度山根市民センター運営方針及び重点目標について

(3) その他

4 閉会

(1)平成27年度山根市民センター利用状況及び事業報告について

①施設利用状況

団体別

	市民センター		社会教育団体		市・県関係		その他		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
26年度	191	2,577	56	949	37	841	505	6,336	789	10,703
25年度	200	2,437	28	602	27	976	465	4,788	720	8,803
24年度	174	1,887	42	945	31	541	305	3,480	552	6,853
23年度	129	1,374	51	828	26	651	202	2,100	408	4,953
22年度	163	1,941	34	588	17	557	387	4,107	601	7,193
21年度	313	3,218	18	267	8	340	328	3,797	667	7,622

23年3月～8月までは震災の影響あり

部屋別

	ホール		集会室		和室		調理室		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
26年度	566	8,540	151	1,462	63	577	9	124	789	10,703
25年度	494	6,471	147	1,527	48	523	31	282	720	8,803
24年度	365	4,939	130	1,225	46	516	11	173	552	6,853
23年度	191	2,815	174	1,618	31	344	12	176	408	4,953
22年度	398	4,836	145	1,624	48	573	10	160	601	7,193
21年度	428	5,360	170	1,519	59	564	10	179	667	7,622

23年3月～8月までは震災の影響あり

②窓口利用状況

(単位：件)

	証明書発行				納税等	合計
	印鑑証明	住民票	戸籍	その他		
26年度	138	124	63	145	238	708
25年度	161	172	51	155	396	935
24年度	116	114	76	160	329	795
23年度	149	146	75	119	275	764
22年度	148	121	77	126	275	747
21年度	162	131	80	168	327	868

③事業報告(平成26年度)

講座等

事業名	開催日	講師	参加人数
リズム体操	26.6.13	鈴木幸枝先生	23名
交通安全教室 寿学級①	26.7.9	水戸警察署職員	20名
ヘルシークッキング	26.7.24	食生活改善推進委員山根支部	23名
夏休み子ども絵画教室	26.7.31~8.1	兼川良子先生	21名
料理講習会	26.10.23	食生活改善推進委員山根支部	27名
見直そう, 生活習慣 寿学級②	26.11.13	小貫医院・小貫喜久子先生他	43名
健康体操教室	26.12.8	鈴木幸枝先生	19名
水ぎょうざづくり講座	27.1.30	鈴木三智先生	18名
味噌づくり講座	27.2.25	長山麴製造本舗 長山勝紀先生他	18名

26.10.23「料理講習会」



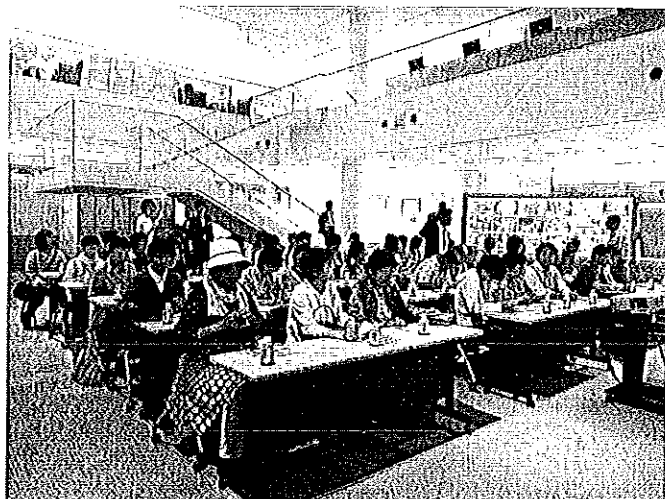
26.11.13「見直そう, 生活習慣」



移動学習

事業名	開催日	行き先	参加人数
ツムラ工場等見学（市バス）	26.7.18	ツムラ茨城工場、あみアウトレット、牛久大仏	44名
「築地」と「柴又」をめぐる旅（福祉バス）	26.12.5	築地場外市場、柴又帝釈天	48名

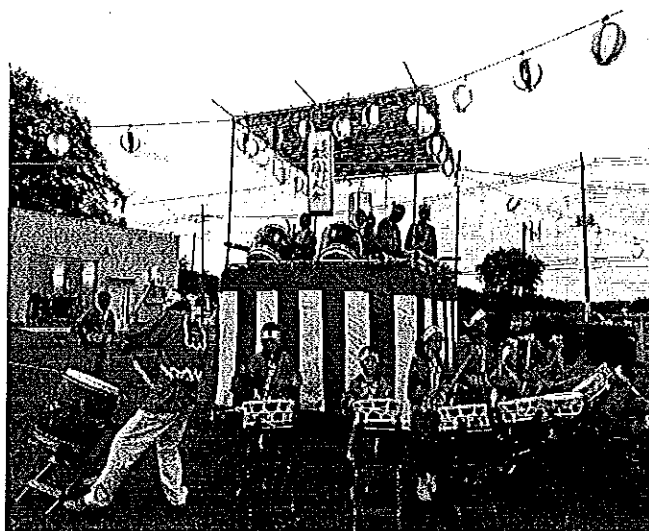
26.7.18「ツムラ茨城工場見学会」



三世代ふれあい事業

事業名	開催日	参加人数	備考
三世代ふれあい奉仕作業	26.6.14	17名	
太鼓練習会①	26.8.2	35名	
太鼓練習会②	26.8.23	30名	
三世代ふれあい奉仕作業	26.9.20	24名	
三世代ふれあいグランドゴルフ（輪投げ）大会	27.3.1	50名	文化祭

26.8.23「太鼓練習会②」



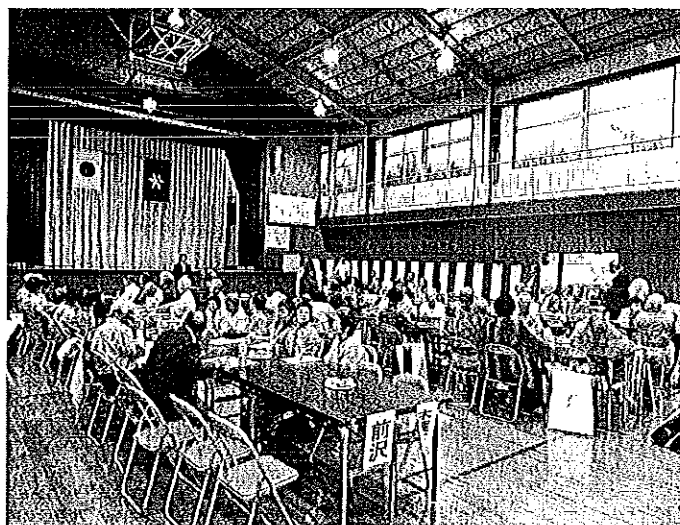
文化祭

事業名	開催日	参加人数	備考
山根市民センター文化祭	26.2.28~3.1	330名	作品展示, 学習発表会

山根自治連合会等

事業名	開催日	参加人数	備考
山根自治連合会役員会, 実行委員会等	26.5.2他13回	延べ234名	
山根自治連合会総会	26.5.17	37名	
花苗配布	26.5.27他3回	7花壇	
西部地区ソフトボール大会	26.6.1	3チーム	全隈ベアーズ, 谷津ファイターズ 茨城倉庫
花壇コンクール	26.7.4	3花壇	
山根地区お父さんソフトボール大会	26.7.27	3チーム	谷津ファイターズ, 木葉下チーム 全隈ベアーズ
三世代ふれあい盆踊り大会	26.8.23	350名	
山根地区敬老会	26.9.14	95名	対象者数219名, うち72名出席 旧山根小体育館
第38回山根地区ゴルフ大会	26.9.26	29名	扶桑カントリー倶楽部
市お父さんソフトボール大会	26.9.28	1チーム	谷津ファイターズ
山根地区市民運動会	26.10.12	160名	旧山根小体育館
山根地区市民懇談会	26.10.18	54名	
西部ブロックソフトボール大会	26.11.8	1チーム	木葉下連合チーム
山根市民歩く会	26.11.9	48名	塩原溪谷遊歩道, 那須千本松牧場
ひとり暮らし及び高齢者の方への食事サービス	26.11.14	47名配布	
違反広告物撤去作業	26.11.23	6名	
寝たきり及び高齢者の方への出前そば	26.12.12	26名配布	
旧山根小学校跡地利活用に係る プレゼンテーション・ヒアリング	27.1.10	46名	
山根自治連合会新年会	27.1.24	15名	割烹はせがわ
山根地区防災研修会	27.2.14	37名	東京都本所防災館, 上野公園
第39回山根地区ゴルフ大会	27.3.16	31名	水戸・ゴルフ・クラブ

26.9.14「山根地区敬老会」



26.10.12「山根地区市民運動会」



26.11.9「歩く会」塩原溪谷遊歩道



参考資料

平成26年度 水戸市市民センター利用状況一覧

平成26年4月1日～平成27年3月31日

No.	施設名	利用件数(件)	利用人数(人)	備考
1	三の丸市民センター	401	7,479	
2	五軒市民センター	698	16,406	
3	新荘市民センター	2,238	33,148	
4	城東市民センター	1,598	28,429	
5	竹隈市民センター	1,876	30,226	
6	常磐市民センター	2,199	36,629	
7	緑岡市民センター	940	18,414	
8	寿市民センター	1,129	22,958	
9	上大野市民センター	377	8,032	
10	柳河市民センター	1,294	19,389	
11	渡里市民センター	1,051	24,760	
12	吉田市民センター	1,668	28,198	
13	酒門市民センター	1,183	23,304	
14	石川市民センター	2,227	37,421	
15	飯富市民センター	593	8,834	
16	国田市民センター	774	10,491	
17	桜川市民センター	2,455	40,619	
18	上中妻市民センター	1,556	20,812	
19	山根市民センター	800	11,585	
20	見川市民センター	1,186	26,778	
21	千波市民センター	1,475	27,448	
22	見和市民センター	1,366	33,330	
23	双葉台市民センター	2,194	39,422	
24	笠原市民センター	1,459	24,113	
25	赤塚市民センター	1,574	20,914	
26	吉沢市民センター	1,078	16,325	
27	堀原市民センター	1,948	39,468	
28	下大野市民センター	728	11,914	
29	稻荷第一市民センター	139	2,347	
30	稻荷第二市民センター	1,322	18,545	
31	大場市民センター	1,059	14,750	
32	内原中央公民館	2,923	39,162	
33	内原中央公民館中妻分館	746	10,741	
	合 計	44,254	752,391	
	参考 H25合計	46,248	798,652	

平成27年度 水戸市市民センター運営方針及び重点目標

運 営 方 針

近年、人口減少社会や超高齢社会の到来をはじめ、都市化の進展、価値観の多様化、生活圏の拡大など、市民を取り巻く状況は大きく変化している。

こうした状況にあっても、市民が安心して暮らし、幸せを感じられるまちを形成していくためには、今後ますます地域コミュニティ活動と生涯学習活動の推進が必要となる。

市民センターにおいては、地域コミュニティ活動の拠点として、その継続や発展に向けた支援に努めるとともに、生涯学習活動の拠点として、その充実や成果を生かす環境づくりに努め、さらには、東日本大震災での経験を踏まえ、地域防災活動の拠点としての機能充実を図っていくものとする。

重 点 目 標

第1 地域コミュニティ活動の支援

1 自主的な地域コミュニティ活動の推進

地域自らが地域の将来像や課題を共有し、特色のある地域づくりや課題の解決に向けた具体的な活動をするための指針となる地域コミュニティプランの作成を支援するとともに、そのプランに基づく自主的な活動を推進し、地域力の一層の進展に努める。

2 地域コミュニティ推進体制の充実・連携強化

(1) 町内会・自治会への加入促進

町内会・自治会への加入率の低下については、町内会・自治会のみ課題ではなく、市・地区会全体の課題として捉え、市、水戸市住みよいまちづくり推進協議会、地区会や、地区会を構成する各種団体等と連携し、積極的な加入促進に努める。

(2) 地域リーダーづくりの推進

地域コミュニティ活動に関連する研修会の実施等により、地域を支えるリーダーづくりの推進を図る。

(3) 地域コミュニティに関する制度や活動状況等の情報提供

地域コミュニティに関する制度や地域の活動状況を広く知らせることは、町内会・自治会への加入促進にもつながる。そのため、回覧板や広報みと、各地区で発行している広報紙等を活用するほか、さらなる情報発信の強化に向け、水戸市住みよいまちづくり推進協議会及び地区会においてホームページの開設等を進める。

3 市民センターの機能充実

市民センターにおける様々な活動環境の一層の充実に向け、施設の利用状況や地域の実情等にあわせたコミュニティルームの設置及び運営を推進するとともに、施設の利用者数や周辺の状況等を踏まえつつ狭あい駐車場の解消に努める。

4 地域防災活動との連携

災害発生時の初動対応については、地域における防災組織が重要な役割を担うものであることから、平常時より、地域での防災訓練への支援、地域における災害リスクや連絡体制の確認を行うなど、地域における防災組織との連携を図る。

第2 生涯学習活動の推進

1 学習機会の充実

生涯学習活動の拠点である市民センターにおいては、「個人の要望」する学習による生きがいづくりを進めるとともに、家庭教育への支援や青少年の健全育成、超高齢社会への対応などの「社会の要請」に応じた現代的課題を取り扱った学習機会の提供に努める。

また、内原中央公民館や各市民センターの一般教養講座・教室・クラブ等、みと好文カレッジの事業を総称した『みと弘道館大学』が市民に親しまれ、生涯学習が市民のライフスタイルに定着し生涯にわたって学び続けることができるような学習機会の提供に努める。

(1) 市民ニーズを捉えた学習機会の提供

市民の学習ニーズを把握し、健康で生きがいのある充実した人生を送ることができるよう、生涯学習のきっかけづくりを図るとともに、それぞれの世代に合った学習機会の提供に努める。

(2) 現代的課題を取り扱った講座の開催

変化の激しい社会情勢に対応していくために、成人学級、高齢者学級等の講座に現代的課題を取り扱ったテーマを組み入れるなどの手法により、地域課題を主体的に捉える学習機会の充実に努める。

(3) 家庭教育学級（ふれあい学級）の開催

家庭は、子供が基本的な生活習慣、生活能力、人に対する信頼感、豊かな情操、思いやりや善悪の判断、自立心や自制心、社会的なマナーなどを身につける上で重要な役割がある。

これまでのふれあい学級の内容に加え、家庭が本来果たすべき役割を見つめ直し、親の役割、子供の心の理解、躾など家庭での教育について考え、学び合う家庭教育学級を開催する。

さらに、茨城県教育委員会が作成発行している「家庭教育ブック」等を活用し、小学校との共催により、就学時健康診断や入学説明会などの機会を捉えた家庭教育講演会を開催し、家庭の教育力向上に努める。

2 学習の成果を活かす環境づくり

生涯学習の成果がボランティア活動や地域づくりに活かせるよう支援するとともに、地域内の人材の掘り起こしを進め、地域の活性化や特色あるまちづくりにつながっていくよう環境づくりに努める。

(1) 地域資源の活用推進

市内には、歴史的な資産や史跡をはじめ博物館、歴史館などの文化施設、学校や大学などの物的資源やそれぞれの施設に所属する職員などの人的資源があり、豊かな地域資源に

恵まれている。このような地域にある資源を活用した事業を開催するとともに、生涯学習の振興に取り組む機関や団体との連携を図りながら、地域資源の有効活用に努める。

(2) 学習活動の成果を発表する場の創出

市民センターを会場に開催している講座の展示会や発表会など、学習の成果を発表する場を創出することにより、学習者同士の交流を拡大させ、新たなネットワーク構築に努める。

(3) 学習の成果を地域活動に活かす仕組みづくり

生涯学習の成果をボランティア活動や地域活動に活かすことは、地域の活性化に大いに役立つものと期待されている。市民センターで学んだ市民が、その成果を地域コミュニティ活動につながるよう人材の育成と活用に努める。

(4) 事業評価に基づく事業の推進

市民センターの講座や事業に参加した市民が、日常生活の中で学習の成果をどのように活かし、また、地域の中でどれだけ活動に関わっているのかなど、事業の成果を検証することが求められている。

市民センターにおいては、実施した講座や事業について自己評価を行うとともに、自己評価をもとに、運営審議会等第三者機関による検証を行い、効果的な事業運営に努める。

3 学校、家庭、地域の連携の強化

学校、家庭、地域が目標を共有し、それぞれが連携して地域社会全体の教育力の向上に努める。

市民センターにおいては、それぞれをつなぎ結ぶ地域拠点としての機能を十分発揮する。

(1) 次代を担う子供たちの「生きる力」を育む

学校、家庭、地域が相互に連携を図りながら、様々な形で異年齢集団との交流や大人と接する事業など、子供たちが直接体験する場を提供し、社会全体で次代を担う子供たちの「生きる力」を育む活動の推進に努める。

(2) 社会全体で支える家庭教育

子供たちが健全に成長していくためには、良好な家庭環境や社会環境を整える必要がある。そのために、家庭の教育力の向上だけでなく、学校、家庭、地域が一体となって子供たちの成長を温かく見守りながら、家庭教育を社会全体で支える仕組みづくりに努める。

山根市民センター運営審議会委員名簿(平成26～27年度)

(敬称略)

氏名	住所	職名	備考
大津 俊英		山根自治連合会会長	会長
今川 明美		山根自治連合会スポ・レク部副部長 市スポーツ推進委員	副会長
大津 武			
大高 尚子		山根自治連合会福祉厚生部員 市民生委員	
車田 美智恵		山根自治連合会スポ・レク部員 市食生活改善推進員	
安藤 正光		水戸市立双葉台中学校長	

山根市民センター職員名簿(平成27年度)

職名	氏名	備考
所長	矢ノ倉 鉄也	
嘱託員	大岡 牧子	Aパターン
嘱託員	松尾 洋美	Aパターン